

全医労青年部ニュース

全日本国立医療労働組合

2017年5月24日発行

No.17

静岡は魅力がいっぱい！

東海北陸の青年浜松へ集合！

5月17～18日、静岡県浜松市で東海北陸地方協青年集会「ヤングレポリチューション in HAMANAKO」が開催され、49名が参加しました。浜松市は今大河ドラマで話題の「井伊直虎」のゆかりの地です。青年集会が開催される前から、青年委員が「どんな企画をしたら、当日楽しんでもらえるだろう」「学習会はどのようなものがいかな」など具体的な色々と企画を立ててきました。

初日は現地実行委員の静岡地区の青年が組合に関する脱出ゲームを遊園地の施設内で開催し、参加者はヒントをもらうためにジェットコースターに乗ったり、班員で協力しながら、1つずつ問題を解決しました。参加者からは「久しぶりの遊園地で童心に戻って楽しめた」「勉強になった」との声がありました。

夕食後の交流会では、班対抗ゲームやじゃんけん大会をして、盛り上がりました。また日中に行った脱出ゲームの結果発表もしました。



した。上位3チームに豪華景品が贈呈されました。

2日目は、職場でよくある事例を青年委員が寸劇をしました。とても個性あふれる職場のメンバーでしたが、内容は「病休と年休の違い」、「超過勤務について」、「パワハラについて」の3つの事例を取り上げ、寸劇を見てから自分たちの職場で何か悩みはないか、超過勤務について話し合いました。その後は浜松と言えば「うなぎパイ」ということで、学習後はうなぎパイ工場見学をしました。

2日間を通して、組合について学び、青年同士の交流を深めました。

権利について学び！

近畿の青年へ学習会開催

5月20日、大阪府大阪市で近畿地方協青年交流会開催され、19名の青年が参加しました。

初めに本部衛藤中執を講師に、自分たちの権利について学びました。権利というとなじみませんが、いまある夏季休暇や夜勤回数は平均月8回以内、夜間看護等手当があるということは、みなさんの先輩が運動をして獲得してきた権利ですという事を全医労の歴史も踏まえながら、伝えました。そして年休、超過勤務、病休など様々な権利について学びました。その後、自己紹介と権利学習会の感想や自分たちの職場について話しました。参加者からは、「給与明細を見てもいつも超過勤務と支給額の欄しかみていませんでした」「委員会や研究も超過勤務の対象だということを知ったので、自分から率先してつけて、後輩もつけやすい環境にしていきたい」などの声を聞くことができました。

意見交換のあとは、「このために来ました！」と言っていた参加者もいた「たこ焼きづくり」をしました。家でもたこ焼きをつくっている



いう人はプロ並みの腕前の人もいました。店員さんにたこ焼きの作り方を教えてもらい、わきあいあいと楽しく過ごしました。たこ焼き終了後はボウリングをしました。久しぶりにやる人多かったですが、ストライクやスパアを出す人も多く、チーム対抗戦でしたが、結果はどのチームも1点差で接戦でした。組合でしか学べない自分の権利を学び、その後は交流をしてリフレッシュができた1日でした。